

神奈川支部情報

第3号 発行日 2006年5月12日

発行者 撫順の奇蹟を受け継ぐ会神奈川支部
連絡先 〒249-0006 逗子市逗子2-11-5-612 松山英司
Tel 046(871)4263 e-mail mt-h-uk@tbc.t-com.ne.jp
郵便振入口座 00190-2-114578

第1回支部会報告

神奈川支部再建総会以降の第1回支部会を下記の議題で開催しました。

当日の出席者は松山、倉形、倉形、安島、長塚、荒川、天野、根本、田村、二田水、青（敬称略）の11名でした。直前に出席不可能になった連絡も入り、出席者が予定より少なく、不十分な論議に終わった面もありましたが、主に夏から秋にかけて神奈川支部として取り組むべき課題について論議をしました。

撫順の奇蹟を受け継ぐ会神奈川支部第1回支部会（レジュメ）

＜4月22日県民サポートセンター 会議室302＞

議題1、会員相互がより認識を深め合い、神奈川支部の今後の指針を導き出したい。

① 神奈川支部第4回総会の反省について

＜総会出席者＞（敬称略）

熊谷紳一郎（本部事務局長）、松山英司、野溝武彦、山口友久、倉形亮、倉形玲子、安島榮、長塚淑江、神谷芙佐子、郡美佳子、宮崎良樹、荒川和晴、天野左千夫、西山暁義、飯塚浩、根本樹、龍野瑤子

他、絵鳩さん、東京支部3名、埼玉支部1名、 合計22名プラス（2）

自己紹介の時間が短かったこと、総会の時間が短くてほとんど論議ができなかったこと、など不足を話し合いたい。

② 2006年度神奈川支部会員会費について

③ インターネット連絡について（支部から、および会員相互間）

④ 神奈川支部としてのイベント（証言集会など）の実施について

2、第3回部順の奇蹟を受け継ぐ会受け継ぐ会（全国）総会報告

① 中帰連平和記念館についての特別報告について

3、その他、

① 教育行政の学校現場への介入しないことを求める県議会への陳情について

② 教育基本法改悪、共謀罪、憲法改悪・国民投票法などの国会上程をめぐる動きと関連してそれらの反対運動との連帯について

③ 小田原地区での受け継ぐ会結成の準備について

④ 神奈川県在住の元中帰連の方たちの現状と、受け継ぐ会として何をなすべきかについて

⑤ その他

主な論議について

総会では時間がなかったことから改めて自己紹介を行いつつ、レジュメに基づく説明とそれに続いて主に論議したことは、議題④の神奈川支部としての証言集会などの開催について、とその他の項③小田原地区の件、④元中帰連の方たちの現状などについてでした。

*証言集会などの開催について、具体的な日程や、規模、内容については確定できませんでしたが、8月には20日に本部が計画しているイベントもあることから9月ごろに、また絵嶋さんの都合を伺って計画を組んでみたいと考えています。今年は中帰連の方たちの帰国50周年にあたることから、さらには今しけ聞くことのできない歴史の真実をより多くの方々に聞いていただけるような内容にするにはどうするかということと、宣伝方法などを含めて十分に論議したいと思います。

*元中帰連の方たちの現状は別紙の資料を一読するまでもなく「時間とのたたかい」が迫られています。会員の皆さんの協力を得てそしてこの間連絡をいただいたお一人お一人を訪ねてみたいと考えています。

*支部会に総会に出席された根本さんの紹介で青栄権さんも出席されました。青さんは16才のときにハルピンで終戦を迎えられた方で、帰国後一時期教師をされていたのですが、その職を辞して生涯をかけて本格的に音楽に取り組んでこられた方です。

小田原に移り住んで以降、地域の人たちからの人望も厚く、小田原9条の会の呼びかけ人も引き受けられて、地道に地域に根の張った平和活動をされている方です。その青さんのよびかけによって支部会の翌日(4月23日)青さん宅に15名の方が集まりました。地理的にも横浜からは離れているために「撫順の奇蹟を受け継ぐ会」の活動を小田原地区でもやっへ行こうという相談のためでした。松山の出席も歓迎されて、手を携えて受け継ぐ会の活動を拡大することを話し合ってきました。当日参加した皆さんが受け継ぐ会会員になられることを表明してくださいました。

なお、詳しいことは次回の支部会で報告します。

第2回支部会開催について

第2回支部会を以下の日程で行います。出席をお願いします。

日時 6月4日 14時より

場所 県立サポートセンター ミーティングルーム602

悲しいお知らせです。

埼玉の中帰連会員の綿貫好男さんが亡くなりました。神奈川支部からは8日の通夜に宮田が、9日の告別式に松山が参列しました。関東各支部の受け継ぐ会会員、中帰連の方も大勢参列されました。告別式の後、受け継ぐ会代表の仁木さんの呼びかけで車に分乗して、中帰連の方たちと一緒に川越の「中帰連記念館」に立ち寄ってきました。

綿貫さんは入隊8ヶ月で終戦となったということで軍隊経験がもっとも浅く、一番若い中帰連会員でした。今まで先輩に気を使われていたのか最近になってようやく「俺も話す出番が出てきた」と張り切っておられたそうです。本当に残念です。

元中帰連の方たち（神奈川県在住）の現在の状況について

中帰連解散（01年4月）以前の神奈川県支部の名簿には26人が記載されていました。

その後亡くなられたことがわかっている方が4名で、22名の方に今回の支部総会の案内かたがた、「近況をお知らせ下さい」とはがきを同封しました。

返事が返ってきたのが9名です。（内、宛先不明で1名返却、1名は娘さんから「父は亡くなった」と連絡あり）＜それぞれの方のメッセージは下記＞

その後も支部情報1号、2号を全員に送り、返事のなかった12名の方々についてももう一度別紙の手紙と返信用はがきを同封しました（4月19日）が、5月10日を過ぎた現在まだ一通も返事が届いていません。それぞれ事情もおありでしょうし、厳しい条件があるのだと思われます。

神奈川県支部総会案内状発送者からの返信はがき

* 昨年9月父貝沼一郎は、腹部動脈瘤破裂により、90歳で永眠しました。生前は大変お世話になりましたことを心より感謝もうしあげます。ありがとうございました。

欠席 貝沼 一郎（中帰連）（横浜市）寺内淑子

* 憲法改悪、靖国と日・中・韓、アジア外交問題、その他増税、社会保障問題、耐震設計偽装問題等々山積の政治情勢下で今後の日本の方向を定める重要な時期に支部総会は開かれることはたいへん意義深いことと思います。

民衆に時局の深刻さを知らしめ、結集させる事業は多くの困難がありますが、まずその母体となる組織の確立が先決です。総会が成功裏に終了できることを祈ります。欠席（川崎市）和田 一夫＜歩行困難＞（中帰連）

* 受け継ぐ会の諸兄に後事を託しました。小生すでに86才、体力も衰えました故、参加をご遠慮いたします。ご健闘を祈ります。

欠席（鎌倉市）坂下 雅章（中帰連）

* 私は心不全、顔面帯状疱疹、女房は脳腫瘍手術の後遺症で健常者の1/5能力（要介護1）。2人共薬漬けの毎日です。

このため一切の会合、活動に参加していません。それまでは細々ながら地域で戦争の語り部的なことをしていました。もう体力的に無理です。「政治」「社会」「文化」すべてに「いつか来た道」を歩みはじめており不安です。若い人たちにも歴史認識な

ど無関係とするのが多い昨今です。

日本も中国も韓国も過度のナショナリズムが台頭をはじめました。ご活躍を祈ります。
欠席 (津久井郡) 菱山 久敏 (中帰連)

* 意見記入なし。 欠席 (川崎市) 内山 繁 (中帰連)

* あて先不明・返信 (川崎市) 妻木 一郎 (中帰連)

* 主人は病弱のため病院通いのため代筆で失礼します。

欠席 (横浜市) 村田 貞治 (中帰連)

* 第4回神奈川支部総会開催への案内状いただきありがとうございました。出席できませんが成功を願っております。私は妻と二人暮らしですが、日常の生活はできております。ただ横浜まで行くのは自信がなく、ご容赦ください。

子供は女が2人いましたが農業をきらって他家へ嫁ぎました。私も重病を経験し、寒い中遠方などへの出向きは慎重にしています。現在は仕事も何もしていません。皆さんの再建されることを期待します。僅少ですが事務などに使ってください。(カンパを同封していただきました)

(秦野市) 久保寺尚雄 (中帰連)

* 父も96才になり、まだ元気しておりますが、足が弱くなり外出は控えている毎日です。皆々さまには宜敷御伝えください。会のますますの発展と皆々様のご健勝を祈念しております。

投函し忘れてたいへん遅くなりましたが悪しからずご了承下さい。(3/3着)

(横浜市) 佐藤勇四郎 (中帰連) さんの息子さんより

* ???、降伏60年の夏、元兵士が語る「大東亜戦争」の真相とだいし23名が報告し、小生8番目に中国華南作戦での餓死状況を告発しています。

無条件降伏した年には日本共産党に入り、戦後60年、反戦、反核、人権民主主義を訴え、北鎌倉へ転居し北鎌倉9条の会代表となり84才の新春を迎えました。これ以上の行動はできないのでよろしく。

欠席 (鎌倉市) 若林 義文 (この方は中帰連会員ではありません)

メッセージをいただいた著名人の方々

(川崎市) 金子マーチン (日本女子大教授)

(川崎市) 姫田 光義 (中央大教授)

(横浜市) 高岩 仁 (映画)

(藤沢市) 山中 恒 (作家)